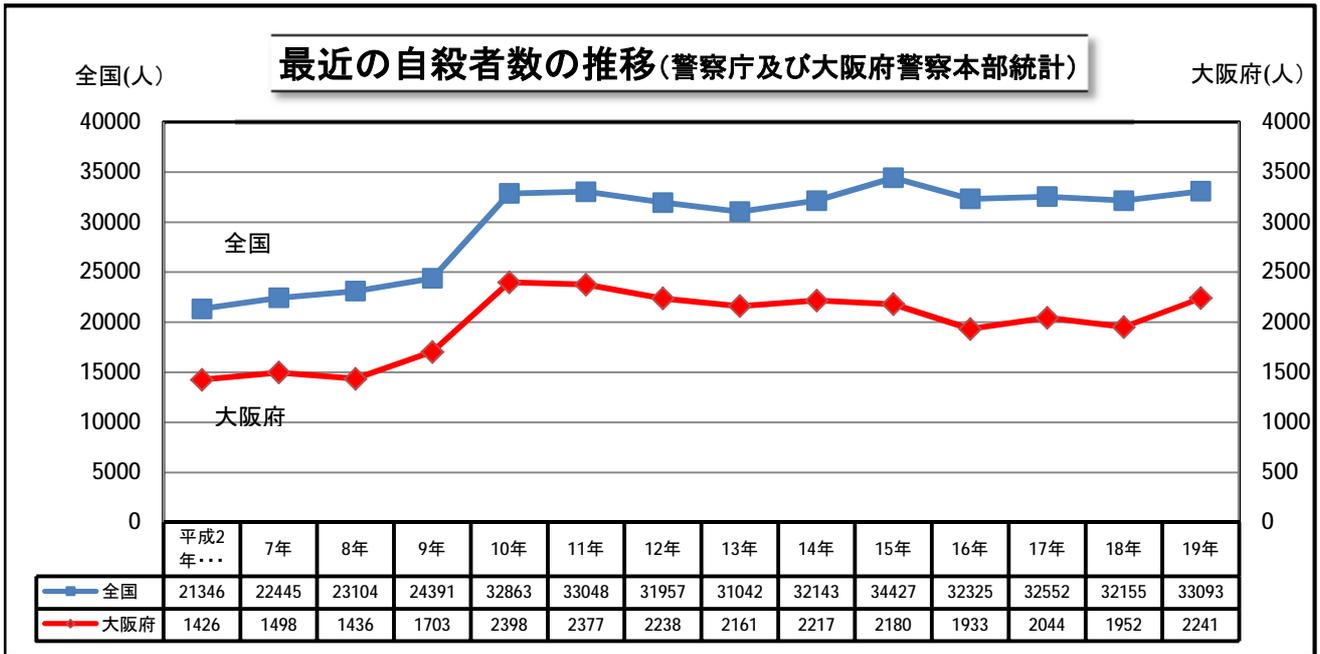
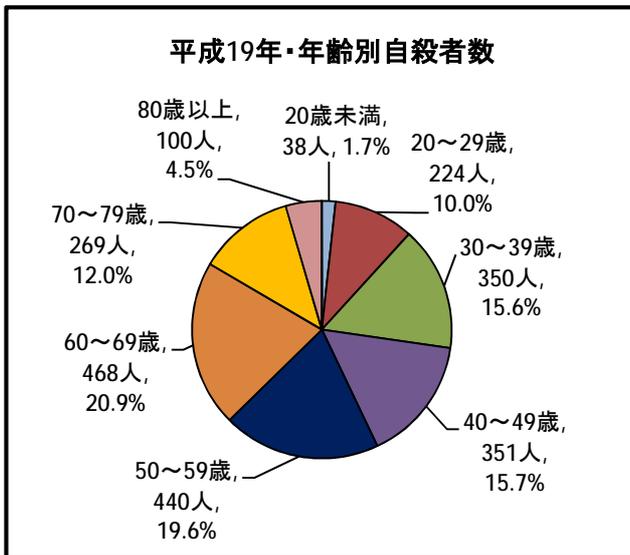


大阪府の自殺の概要<平成19年>

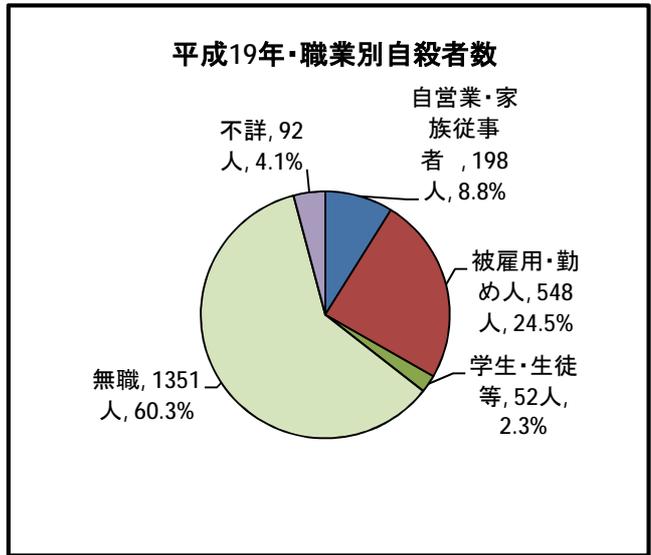
※警察庁及び大阪府警本部統計



大阪府の平成19年の自殺者数は2,241人となっており、昨年と比べて著しい増加が見られます。全国においても同様に増加していることが分かります。

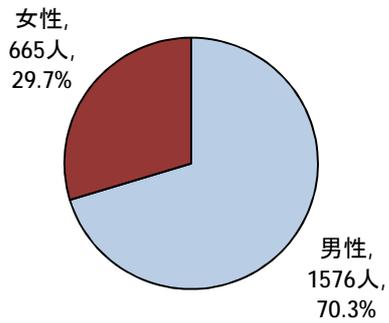


大阪府の平成19年の年齢別自殺者数の割合は、60代が468人(20.9%)、50代440人(19.6%)、40代が351人(15.7%)となっており、依然として中高年の割合が高くなっています。



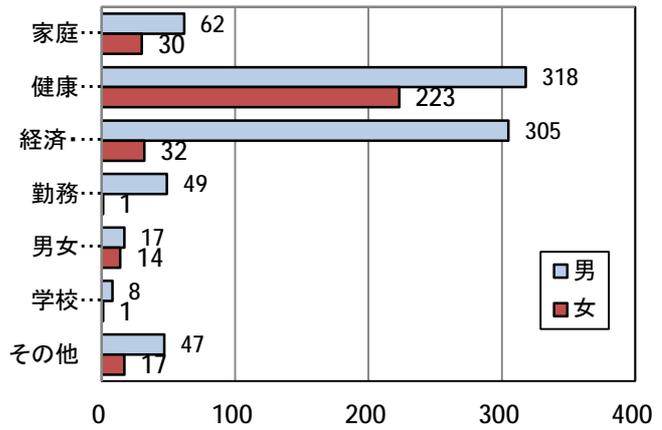
平成19年から自殺統計による職業の分類が改められたことから単純な比較はできないが、「無職」が1,351人と60%以上を占めています。次いで「被雇用者・勤め人」が548人(24.5%)、「自営業・家族従事者」が198人(8.8%)、「不詳」が92人(4.1%)の順になっています。

平成19年・男女別自殺者数



大阪府の平成19年の男女別自殺者数の割合は、男性は1576人(70.3%)、女性は665人(29.7%)と男性が女性の約2.3倍になっています。

平成19年・原因動機別自殺者数(複数回答・962人)



警察庁及び大阪府警察本部の自殺統計資料(以下「自殺統計」という。)では、平成19年から原因・動機を3つまで計上することとしており単純に比較はできないが、「家庭問題」が男女とも約半分以下となり、「勤務問題」、「男女問題」は増加しています。